



フェアな価格 確かな信頼

電力

Power

☆RIM POWER INTELLIGENCE DAILY

★No. 1099 Jan 31 2018

Copyright (c) 2018 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 16:30 JST Jan 31 2018<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

◎お知らせ

○新たな先渡価格の公表について

リム情報開発では、2018年1月9日(火)から従来の先渡価格に加え、新たな先渡価格を公表しました。従来の先渡価格は、当社が燃料価格などをベースに独自算出していますが、新たに公表した先渡価格では各電気事業者様から提供していただいたものを掲載し、その平均値も掲載します。なお、ご協力いただく事業者様の社名などは非公表としますので、ご理解下さい。読者の皆様にとって参考になり、事業の一助になれば幸いです。

○新レポート『CROSS VIEW(クロスビュー) 軽油』創刊

リム情報開発株式会社は12月15日、新レポート『CROSS VIEW(クロスビュー) 軽油』を創刊いたしました。当社が得意とする価格取引情報と各種の統計データを組み合わせ、国内外の軽油マーケットを多面的に捉えようと試みたのがこのレポートです。1月20日号が創刊号となります。それ以降、毎月5日号および20日号の計2回発行いたします。

<http://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/crossView/>

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

31日のレックス22は、前日から0.74ポイント低下し113.86です

——リムレポートのご紹介——

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

ラインアップ:

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG
石油化学	ポリオレフィン	LNG
電力	デイリーデータ	Rim Data File

上記に関するお問い合わせは電力チームまで

TEL 03-3552-2411

E-mail info@rim-intelligence.co.jp

◎電力市況

ORim Index 翌日受渡

1日受渡	東日本			前日比	西日本			前日比
24時間	17.40	～	18.40	+0.33	16.84	～	17.84	+0.02
昼間	19.35	～	20.35	+1.19	18.89	～	19.89	-0.02
ピーク	15.52	～	16.52	+2.78	14.66	～	15.66	+1.13
夜間	14.68	～	15.68	-0.87	13.97	～	14.97	+0.08

ORim Index 先渡価格

限月	24時間	前日比	限月	24時間	前日比
2018年3月	10.59	-0.02	2018年11月	10.65	-0.02
2018年4月	10.63	-0.03	2018年12月	11.63	-0.02
2018年5月	10.74	-0.03	2019年1月	11.62	0.00
2018年6月	10.78	-0.03	2019年2月	11.61	0.00
2018年7月	11.81	-0.03	2019年3月	10.58	-0.01
2018年8月	11.79	-0.03	2019年4月	10.56	-0.02
2018年9月	11.24	-0.03	2019年5月	10.57	-0.01
2018年10月	10.69	-0.03			

円/kWh

※全国統一価格。Rim推定の発電燃料(石炭、LNG、原油、C重油)のスポット価格およびJCCを適用した発電単価がベース。大手電力9社の火力発電設備における燃料毎の比率を出して前述の発電単価を乗じ限界費用(燃料費用)を出す。過去の限界費用とスポット価格のヒストリカルから一定の比率を導き出し、限界費用に一定の比率を加算したもの。

○各社想定による月間受渡-24時間平均(全国)

	2018年3月	前日比	2018年4月	前日比	2018年5月	前日比	2018年6月	前日比	2018年7月	前日比
A社	10.62	-0.04	10.70	-0.03	11.03	-0.05	10.75	-0.06	11.97	-0.06
B社	8.83	-0.25	8.58	-0.05	8.57	-0.06	9.02	-0.08	9.41	-0.10
C社	10.59	-0.01	10.60	+0.01	10.68	0.00	10.71	-0.03	11.74	-0.03
D社	9.96	0.00	8.85	0.00	8.84	0.00	9.75	0.00	10.94	0.00
Ave.	10.00	-0.08	9.68	-0.02	9.78	-0.03	10.06	-0.04	11.02	-0.04
	2018年8月	前日比	2018年9月	前日比	2018年10月	前日比	2018年11月	前日比	2018年12月	前日比
A社	11.94	-0.05	11.31	-0.04	10.86	-0.04	10.79	-0.05	11.72	-0.04
B社	9.47	-0.09	9.15	-0.08	8.74	-0.08	9.03	-0.08	9.52	-0.08
C社	11.72	-0.03	11.17	-0.03	10.62	-0.03	10.57	-0.04	11.56	-0.03
D社	11.00	0.00	10.23	0.00	9.07	0.00	9.84	0.00	10.14	0.00
Ave.	11.03	-0.05	10.47	-0.03	9.82	-0.04	10.06	-0.04	10.74	-0.03
	2019年1月	前日比	2019年2月	前日比	2019年3月	前日比	2019年4月	前日比	2019年5月	前日比
A社	11.89	-0.06	11.65	-0.05	10.55	-0.05	10.69	-0.05	10.84	-0.06
B社	9.65	-0.08	9.45	-0.09	8.68	-0.08	8.51	-0.07	8.47	-0.07
C社	11.53	-0.05	11.52	-0.04	10.50	-0.04	10.50	-0.04	10.50	-0.05
D社	10.31	0.00	10.21	0.00	9.66	0.00	8.57	0.00	8.57	0.00
Ave.	10.85	-0.04	10.71	-0.04	9.85	-0.04	9.57	-0.04	9.60	-0.04

円/kWh。小売電気事業者各社による価格であり当社のアセスメントではありません。Ave.は各社の単純平均。

○各社想定による月間受渡-昼間平均(全国)

	2018年3月	前日比	2018年4月	前日比	2018年5月	前日比	2018年6月	前日比	2018年7月	前日比
A社	12.05	-0.05	12.58	-0.04	13.03	-0.06	13.48	-0.07	16.88	-0.07
B社	10.55	-0.33	9.98	-0.06	10.13	-0.07	10.56	-0.07	12.77	-0.23
C社	11.69	-0.01	11.30	+0.01	11.38	0.00	11.71	-0.03	13.24	-0.03
D社	10.75	0.00	9.11	0.00	9.11	0.00	10.05	0.00	13.36	0.00
Ave.	11.26	-0.10	10.74	-0.03	10.91	-0.04	11.45	-0.04	14.06	-0.09
	2018年8月	前日比	2018年9月	前日比	2018年10月	前日比	2018年11月	前日比	2018年12月	前日比
A社	16.16	-0.06	15.15	-0.06	13.11	-0.05	12.51	-0.06	13.74	-0.05
B社	13.09	-0.09	12.38	-0.08	11.08	-0.16	10.86	-0.11	11.39	-0.20
C社	13.62	-0.03	13.37	-0.03	12.22	-0.03	11.57	-0.04	12.46	-0.03
D社	13.43	0.00	12.49	0.00	10.44	0.00	10.14	0.00	11.26	0.00
Ave.	14.08	-0.04	13.35	-0.04	11.71	-0.06	11.27	-0.05	12.21	-0.07
	2019年1月	前日比	2019年2月	前日比	2019年3月	前日比	2019年4月	前日比	2019年5月	前日比
A社	14.07	-0.07	13.43	-0.06	12.05	-0.06	12.49	-0.06	12.80	-0.08
B社	11.67	-0.16	11.23	-0.17	10.45	-0.11	9.98	-0.09	9.97	-0.08
C社	12.43	-0.05	12.42	-0.04	11.60	-0.04	11.20	-0.04	11.20	-0.05
D社	11.87	0.00	11.46	0.00	10.55	0.00	9.09	0.00	9.03	0.00
Ave.	12.51	-0.07	12.14	-0.06	11.16	-0.06	10.69	-0.05	10.75	-0.05

円/kWh。平日8~20時の平均値。小売電気事業者各社の価格であり当社のアセスメントではありません。Ave.は各社の単純平均。

○JEPX指標価格

受渡日	2018/2/1		前日比	前週比
24時間平均	円/kWh	17.37	-0.08	-0.89
昼間平均	円/kWh	19.14	+0.20	-1.51
ピーク平均	円/kWh	14.74	+1.29	+0.91
約定総量	kWh	250,160,000	+21,730,500	+29,607,500

※JEPXのHPから価格および約定量情報を収集、これはアセスメントではなく参考値です

昼間8:00~22:00 ピーク13:00~16:00、平均=単純平均値

◎マーケット概況
○概況
<翌日受渡(1日)>
小じっかり、冷え込み緩和の一方で太陽光が減少

Rim Index翌日受渡の相場は小幅上昇だった。24時間平均(中心値)は、東日本が31日受渡比で0.33円高の17.90円、西日本が同0.02円高の17.34円。東西価格差は0.56円の東高西低で、31日受渡の0.25円から0.31円拡大した。

各地で寒気が弱まり、暖房需要は減少しそう。東京は予想最高が31日より若干低いが、最低気温が底上げされる見通し。西日本では福岡などで最高気温が10度以上の水準に達するほか、名古屋や大阪は最低気温が小幅ながら上昇すると予想されている。しかし、供給が細るため、価格は小高くなったようだ。

東京や名古屋、大阪などでは31日の晴れ間が1日には揃って雲に遮られ、太陽光発電からの供給減が見込まれる。ただ、東日本は夜間平均が弱含んだ。東京に加えて、仙台や新潟などでも最低気温が高くなると予想される影響で、夜間の需給が緩みやすくなったとみられる。一方、西日本は昼間平均がわずかに下がった。福岡や広島で最高気温が10度以上に達するとみられ、昼間価格に下押し圧力がかかり安くなった面がありそう。

また、1日受渡では東西分断の生じたコマで、東日本向きの逆潮流が強まるコマがみられた。15時30分~16時の売買状況をみると、北海道は売りが

301MW、買いが403MW、東北と東京の売りが5,556MW、買いが6,427MW、西日本の売りが5,948MW、買いが5,035MWだった。約900MW分が西から東へ流れている状況から、「東京でまた緊急融通が行われるのではないか」（新電力の市場取引担当者）との懸念も聞かれた。

1日の火力の追加的運用は、停止が石油火力3基とLNG火力1基。いずれも西日本の設備で出力合計が約150万kW。再開は、東日本の2基計80万kWの予定。加えて東日本では、50万kW級のLNG火力1基が31日朝方に計画停止し、31日午後には100万kW級の石油火力1基がトラブルで停止した。西日本では70万kW級の石炭火力1基が31日未明に停止したが、同日中に再開したもよう。

1月26日の α 速報値は1.00、 α 上限値は500円台が計36コマ

31日に公表された1月26日受渡の「 α 速報値×スポット・時間前平均価格」は、24時間平均が18.17円、昼間平均が19.78円、ピーク時平均が12.31円、夜間平均が15.93円。「スポット・時間前平均価格」は、それぞれ18.09円、20.25円、13.45円、15.07円となり、 α 速報値はそれぞれ1.00、0.98、0.92、1.06

だった。また、「 α 上限値×スポット・時間前平均価格」で最も高かったのは23時～23時30分の511.96円となり、500円台は計36コマとなった。最も安かったのは14時30分～15時の38.30円で、48コマ平均は409.59円。「 α 下限値×スポット・時間前平均価格」で最も高かったのは18時～18時30分の4.00円、最も安かったのは11時30分～12時の2.92円で、48コマ平均は3.48円。

一方、1月1日～26日の累計平均では、「 α 速報値×スポット・時間前平均価格」は、24時間平均が11.38円、昼間平均が12.40円、ピーク時平均が9.90円、夜間平均が9.95円。「スポット・時間前平均価格」は、それぞれ11.64円、12.69円、10.33円、10.17円で、 α 速報値はそれぞれ0.98、0.98、0.96、0.98で推移。

2月1日の β 値は全国で0円

1月26日受渡の β 値は、引き続き全国で0円。1月1日～26日の β 値は、北海道が1.78円、東北と東京がマイナス0.04円、九州以外の西日本が0.29円、九州が0円だった。一方、最新の2月1日受渡の β 値は、全国で0円となった。

○気象動向

1日の気温は、比較的広い地域で31日より若干上昇する見込み。気象庁の31日11時の発表では、主要10都市の気温は、最低がマイナス9度から3度、最高がマイナス2度から11度の範囲内でそれぞれ推移するとみられる。東京の予想最高気温が31日と比較して1度低い7度となり、平年を2.5度下回る見込み。ただ、最低気温は同2度高い2度で、平年より1.1度高くなりそう。仙台の予想最高気温は同1度高い3度で、平年比では2度低い水準。札幌は同横ばいのマイナス2度と、ほぼ平年並。西日本では、名古屋の予想最高気温が31日と比べると変わらずの7度で、平年より1.8度低い。大阪は同2度低い5度で、平年を4.0度下回る。福岡は同3度高い11度と、平年比で1.3度高くなるとみられている。一方で、1日の最低気温は東京に限らず、札幌を除く8都市でも31日よ

りも高くなる見込み。

1日の天気は、晴れ間が少なくなり、曇天の地域が拡大するとみられる。気象庁によると、主要10都市のうち札幌と仙台では、一定の日照があるものの、その他8都市では曇天となりそう。大阪や福岡、広島、新潟などでは降雪も予想される。東日本の東京は、31日の「晴れ、夜に曇り」に対し、1日が「曇り、所により夜に雪か雨」の予報。仙台は31日が「晴れ、夕方から曇り、所により夕方に雪」、1日が「曇り、時々晴れ」と、雲の増える可能性が高い。札幌は、31日が「晴れ、昼過ぎから曇り、所により雪で吹雪く」、1日が「曇り、時々晴れ、所により未明に雪」となりそう。一方、西日本の名古屋は、31日が「晴れ、夕方から曇り」、1日が「曇り、所により夕方から雨か雪」と、下り坂をたどるとみられ

る。大阪は31日の「晴れ、昼過ぎから曇り」から、1日に「曇り、朝から昼前に雪か雨」へと転じるという。福岡は31日が「曇り、所により夜に雨か雪」、

1日が「雪か雨、昼前から曇り」と、晴れ間の見えない状態が続くとされる。

○火力発電所動向

東京電力の鹿島石油火力発電所6号機(定格出力100万kW)は、31日15時25分にトラブルで停止した。同日16時30分時点で復旧のめどは立っていない。同社の千葉LNG火力3号系列1軸(50万kW)は31日9時25分に計画停止した。当初は復旧が未定だったものの、夕刻になり同日中の復旧予定となった。さらに東電

では、30日23時に富津LNG火力3号1軸(38万kW)を停止し、31日に再開した。

1日の火力設備の運用は、4基計149万3,000kW、再開が2基計80万kWの予定。停止火力の4基が西日本、再開の2基が東日本の設備となる。

火力設備:1日の運用見通し

社名	発電所名(ユニット番号)	種別	使用燃料	定格出力(万kW)	状況
停止					
中電	新名古屋7-6号機	計画停止	LNG	24.3	計画停止:停止予定2018/2/1-復旧予定2018/2/12(2017/2/23の14時28分更新)
中国電	岩国2号機	計画停止	原・重油	35	計画停止:停止予定2018/2/1-復旧予定2018/3/31(2017/2/22の17時更新)
	岩国3号機	計画停止	原・重油	50	計画停止:停止予定2018/2/1-復旧予定2018/3/31(2017/2/22の17時2分更新)
	下関2号機	計画停止	重油	40	計画停止:停止2018/2/1の23時50分-復旧予定2018/2/4(2018/1/30の14時9分更新)
再開					
東電	千葉3-3号機	計画停止	LNG	50	計画停止:停止予定2018/1/31の23時-復旧予定2018/2/1(2018/1/31の17時00分更新)
鹿島共同火力	鹿島共同発電所 5号機(東京)	計画停止	高炉ガス/コークス炉ガス	30	計画停止:停止予定2018/1/31の6時35分-復旧予定2018/2/1(2018/1/11の14時24分更新)←(停止予定2018/1/31の4時45分-復旧予定2018/2/1=2018/1/11の14時24分更新)

※火力発電所動向はレポート発行日の16時30分までの情報に基づいたものです。16時30分以降のものについては、翌日以降に掲載しますのでご了承ください。

○その他

リム試算の発電単価(1日受渡)は、LNG(熱効率44.1%)が31日受渡比0.03円高の9.10円、石炭(同40.5%)が同0.06円安の5.12円、輸入C重油(LSF0・同38.4%)が同0.08円安の11.80円、国産C重油(硫黄分0.3%・同38.4%)が同横ばいの12.29円、原油(同38.4%)が同0.03円安の11.81円だった。

電力広域的運営推進機関(OCCTO)が公表する電力需要実績によると、1月30日の北海道から九州までの9地域の需要合計は、前年同期比で18.5%増の31億5,099万4,000kWhだった。冷え込みに伴う暖房需要の増加により、全9地域で前年実績を上回った。増加幅が最大だったのは、同23.4%増の東京。九州が同23.1%増、北陸が同20.6%増で続いた。最小は

北海道の同2.7%増。1月1日～30日の9地域累計は837億833万3,000kWhと、前年同期から3.7%増加した。大都市圏は、東京が同4.3%増、中部が同2.9%増、関西が同3.3%増、九州が同7.2%増だった。

金曜2日の気温は、1日に比べ西日本では高くなるが、東日本は寒気が強まる見込み。気象庁は、主要10都市の気温について、最低がマイナス11度から3度、最高がマイナス1度から11度の範囲でそれぞれ推移すると予想した。予想最高気温は、東京が1日から2度低い5度、名古屋が同4度高い11度、大阪が同5度高い10度。一方、2日の天気は西日本で晴れ間が戻るが、東日本は曇天が続くそう。主要10都市のうち名古屋と大阪、広島、高松、札幌では一定の日

照がありそうだが、東京と仙台は曇天の見通し。東京では降雪も予想される。

※取引所では24時間を30分毎、計48コマに分け約定する。評価価格の24時間、昼間(8:00~22:00)、ピーク(13:00~16:00)は約定価格を基に算出。

* 市場分断：日本の電気の周波数は、東日本が50Hz、西日本が60Hzの交流。そのため50Hzを60に、60Hzを50に変える設備が周波数変換設備(FC)。FCの混雑がない場合には全国同一価格で約定するが、混雑が発生した場合、市場が分断され、東日本と西日本で異なる価格が生じる。

○先渡価格（燃料動向概況）

Rim Index 先渡価格は総じて続落。国際原油相場は堅調に推移したものの、国際石炭相場が下げ幅を拡大したほか、アジアのC重油相場も軟化し、先渡価格もつれ安となった。ただ、外国為替市場で円安/ドル高に振れたため、下げ幅は抑制された。

アジアのベンチマークであるドバイ原油は、期近の2限月が前日から0.02~0.07ドル下落したが、他の限月は0.01~0.36ドル上昇した。輸入C重油は前日から4.75~8.25ドル下落し、期先ほど下げ幅が大きくなった。シンガポールの重油先物相場が軟化したことを映した。LNGの北東アジア着スポット相場は横ばい。足元の需給に大きな変化はみられず、相場も動意薄だった。豪ニューキャッスル積の一般炭相場は下落。前日から0.4~2.6ドル安に落ち込んだ。

原油(JCC)は、期近の2018年3月限が前日から150円安の49,760円。期近との限月間の価格差は2018年6月限が890円安、2019年5月限が690円高だった。C重油は、期近の2018年3月限が同390円安の53,070円。期近との限月間の価格差は、2018年6月限が200

円安、2019年5月限が3,740円安だった。LNGは、期近の2018年3月限が同40円高の53,520円。期近との限月間の価格差は2018年6月限が3,090円高、2019年5月限が2,180円高。石炭は、期近の2018年3月限が同160円安の14,070円。期近との限月の価格差は2018年6月限が770円安、2019年5月限が1,620円安だった。

JEPXの先渡市場では、31日に3件の約定があった。2月3日~9日受渡の昼間型(平日8時~18時受渡)で16.00円、10MWが2件、2月10日~16日受渡の昼間型で15.40円が5MWだった。価格水準については割高との声が多く聞かれた。「1日受渡の8時~18時のシステム価格は18円台と高いが、来週に16円でヘッジがうまくいくようなスポット相場になったら、さらに苦境に立たされる新電力が多くなるのでは」(新電力の需給担当者)との声もあった。31日に締め切られた2月3日~9日受渡の約定動向は下記のとおり。また、2月7日に締め切りとなる2月10日~16日受渡の約定動向は31日時点で下記のようになっている。

受渡日	約定価格	約定数量	約定日
2/3~9 昼間型	12.50	1	12月26日
	14.00	10	1月26日
	14.30	10	1月30日
	14.50	20	1月30日
	16.00	10	1月31日
	16.00	10	1月31日
合計	14.84	61	-

単位:約定価格は円/kWh、約定数量はMW
約定価格の合計は加重平均値

受渡日	約定価格	約定数量	約定日
2/10~16 昼間型	12.50	1	12月26日
	14.00	1	1月26日
	14.50	9	1月30日
	14.50	11	1月30日
	15.40	5	1月31日
合計	14.57	27	-

単位:約定価格は円/kWh、約定数量はMW
約定価格の合計は加重平均値

◎日本卸電力取引所<JEPX> スポット市場(翌日渡し)の各種データ

○売買入札動向

売り入札量は、前日から10.8%増の2億8,872万4,500kWh。昼夜通じて増え、昼間は同10.3%増の1億6,543万1,000kWh、ピーク時が同10.8%減の3,967

万1,500kWh、夜間が同11.4%増の1億2,329万3,500kWhに達した。1日の気温は、最低が31日からかなり高くなるほか、太陽光も一部地域で増える見

通しとなったことなどを映した。

買い入札量は、前日から7.0%増の4億8,194万9,500kWhと、過去最多に達した。昼間が同6.8%増の2億9,975万9,500kWh、ピーク時が同5.9%増の

6,645万2,500kWh、夜間が同7.5%増の1億8,219万kWhと、昼夜通じて買い気が強まった。前日に続き、全48コマで買いが売りを上回った。

1日受渡	24時間	前日比	昼間	前日比	ピーク時	前日比	夜間	前日比
売り入札量	288,724,500	10.8%	165,431,000	10.3%	39,671,500	10.8%	123,293,500	11.4%
買い入札量	481,949,500	7.0%	299,759,500	6.8%	66,452,500	5.9%	182,190,000	7.5%

※単位:kWh

○約定量動向

約定量は、前日から9.5%増の2億5,016万kWhと、過去最多を記録した。昼夜通じて売買札が増えた動きを映す格好となり、昼間が同9.1%増の1億5,400万5,000kWh、ピーク時が同11.0%増の3,616万

4,500kWh、夜間が同10.1%増の9,615万5,000kWhに達した。価格は東日本が上昇、西日本が前日並と、価格水準は決して割安とはいえないものの、需要見合いの買いが増えたとみられる。

1日受渡	24時間	昼間	ピーク時	夜間
約定量	250,160,000	154,005,000	36,164,500	96,155,000
前日比	9.5%	9.1%	11.0%	10.1%

※単位:kWh

○価格動向

システムプライスは、24時間平均が前日から0.08円安の17.37円、昼間平均が同0.2円高の19.14円、ピーク時平均が同1.29円高の14.74円、夜間平均が同0.47円安の14.90円。

東日本と西日本を比較すると、昼間平均の東西価格差は0.46円の東高西低に逆転した。前日は0.75円の西高東低だった。昼間平均は、東日本が同1.19円高の19.85円、西日本が同0.02円安の19.39円。東日本では、東京電力の高効率LNG火力である千葉3号系列1軸(定格出力50万kW)が31日9時25分に計画停止したが、停止時点で復旧予定が未定だったため何らかの不具合で停止した可能性があるほか、大型

石油火力の広野4号機(100万kW)も停止したまま。こうした状況を懸念した東日本の買い手が調達意欲を強め、買値を引き上げた可能性がある。対照的に西日本では、需給の大きな変化がないと判断した向きが少なかったとみられ、価格もほぼ前日並となったようだ。夜間は、東日本が同0.87円安の15.18円、西日本が同0.08円高の14.47円。

高値は、東日本が7時～7時30分(1コマ)の30.00円、西日本が18時30分～19時(1コマ)の28.00円だった。一方、安値は全国統一価格の10.87円で、時間帯は12時30分～13時(1コマ)。

1日受渡	高値	前日比	安値	前日比	昼間	前日比	ピーク時	前日比	夜間	前日比	夜間0時～8時	前日比	夜間22時～24時	前日比
東日本	30.00	0.0%	10.87	12.5%	19.85	6.4%	16.02	21.0%	15.18	-5.4%	15.35	1.2%	14.48	-25.9%
西日本	28.00	-6.7%	10.87	-0.4%	19.39	-0.1%	15.16	8.1%	14.47	0.6%	14.57	3.0%	14.09	-8.0%
東西格差(東-西)	2.00		0.00		0.46		0.86		0.71		0.78		0.39	

※単位:円/kWh、昼間、ピーク時、夜間は平均価格

○市場分断動向

市場分断は、前日と同様に東京-中部エリア間(FC=周波数変換設備)と中国-九州エリア間(関門連系線)の2カ所で生じ、北海道は発生しなかった。

東京-中部間は7時間30分(15コマ)で生じた。前日

は8時間(16コマ)だった。分断時間帯は、0時30分～1時(1コマ)、1時30分～4時30分(6コマ)、6時30分～8時(3コマ)、15時～17時(4コマ)、21時30分～22時(1コマ)で、夜間の7コマが中部高、他の8コマが東

京高だった。両エリア間の最大価格差は、7時～7時30分(1コマ)の10.00円で、この時の東京が30.00円、中部が20.00円だった。

中国-九州間は、1時間30分(3コマ)で生じた。前

日は2時間(4コマ)だった。分断時間帯は、22時～23時30分(2コマ)で、この時の中国が17.67円、14.60円、14.01円に対し、九州が一律12.43円だった。

1日受渡(周波数変換設備:東京(50Hz)-中部(60Hz)間)

※単位:円/kWh

時間	システム プライス	東京	中部	東西格差 (東-中)	システムプライスとの価格差 (東-システム) (中-システム)	
0時30分～1時	12.81	12.30	12.81	-0.51	-0.51	0.00
1時30分～2時	13.16	12.11	13.16	-1.05	-1.05	0.00
2時～2時30分	13.16	12.80	13.16	-0.36	-0.36	0.00
2時30分～3時	13.16	12.30	13.16	-0.86	-0.86	0.00
3時～3時30分	12.88	12.88	13.16	-0.28	0.00	0.28
3時30分～4時	12.50	12.30	13.16	-0.86	-0.20	0.66
4時～4時30分	12.62	12.49	12.86	-0.37	-0.13	0.24
6時30分～7時	17.15	17.67	15.38	2.29	0.52	-1.77
7時～7時30分	25.00	30.00	20.00	10.00	5.00	-5.00
7時30分～8時	25.91	28.96	24.44	4.52	3.05	-1.47
15時～15時30分	16.09	17.15	17.00	0.15	1.06	0.91
15時30分～16時	17.15	20.00	15.01	4.99	2.85	-2.14
16時～16時30分	19.59	22.80	17.02	5.78	3.21	-2.57
16時30分～17時	25.00	25.00	24.44	0.56	0.00	-0.56
21時30分～22時	13.86	13.86	12.43	1.43	0.00	-1.43

1日受渡(関門連系線:中国-九州エリア間)

※単位:円/kWh

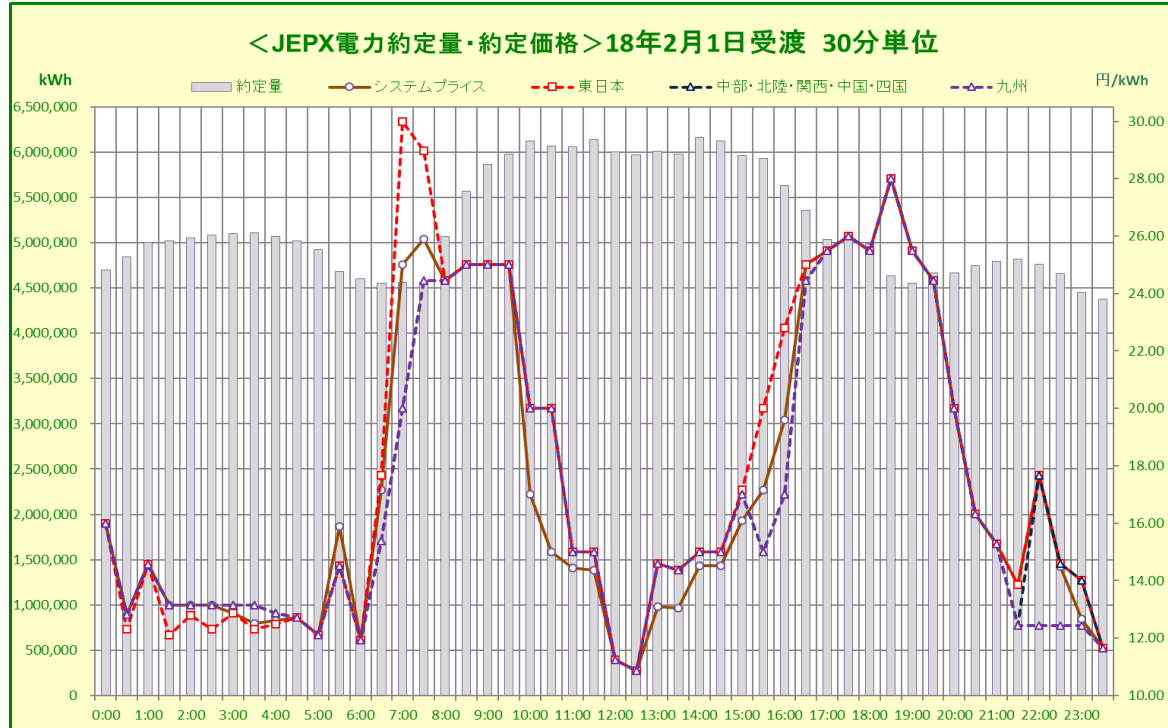
時間	システム プライス	中国	九州	価格差 (中-九)	システムプライスとの価格差 (中-システム) (中-システム)	
22時～22時30分	17.67	17.67	12.43	5.24	0.00	-5.24
22時30分～23時	14.50	14.60	12.43	2.17	0.10	-2.07
23時～23時30分	12.67	14.01	12.43	1.58	1.34	-0.24

◎日本卸電力取引所<JEPX> スポット市場(翌日渡し)の各種グラフ
○約定量と約定価格(2月1日受渡)

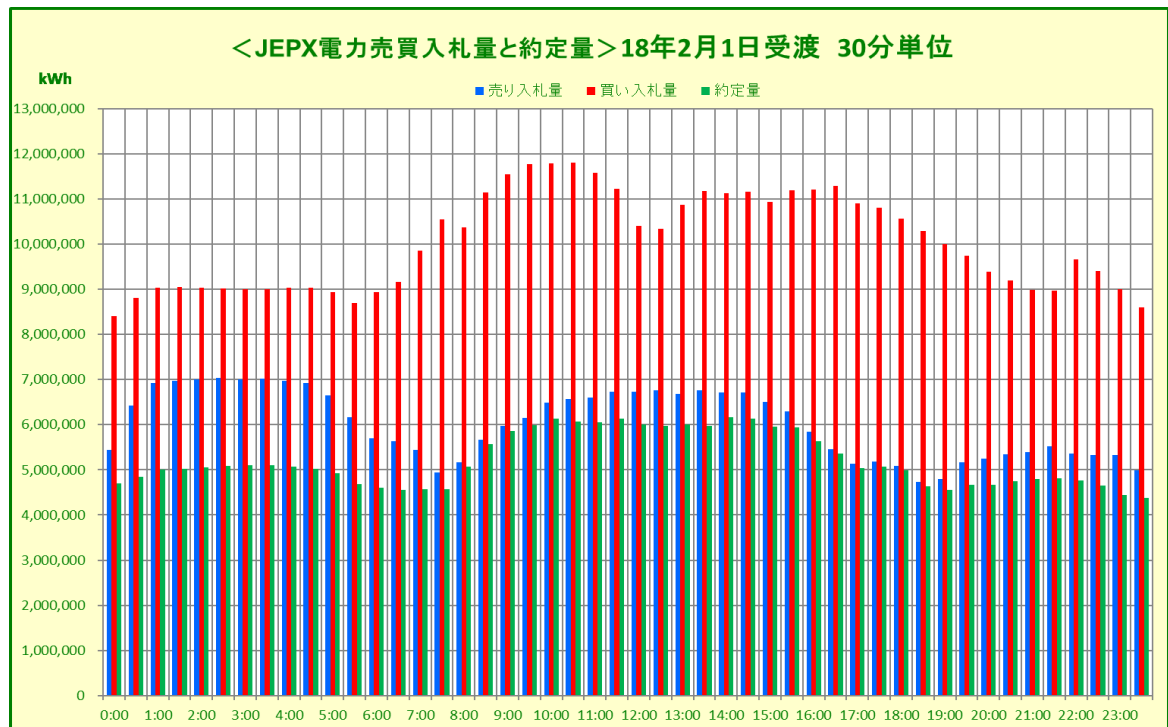
東京-中部エリア間(FC)で7時間30分(15コマ)の市場分断が発生。

中国-九州エリア間(関門連系線)で1時間30分(3コマ)の市場分断が発生。

約定量：2億5,016万kWh、実勢高値：30.00円(東日本)、実勢安値：10.87円(統一価格)。


○売買入札量と約定量(2月1日受渡)

売り入札量計：2億8,872万4,500kWh、買い入札量計：4億8,194万9,500kWh。



◎スポット・1時間前平均と α 速報値×スポット・1時間前平均のデータおよびグラフ
○1月26日受渡

スポット・時間前平均		α 速値×スポット・時間前平均		α 速報値	
24時間平均	18.09	24時間平均	18.17	24時間平均	1.00
昼間平均	20.25	昼間平均	19.78	昼間平均	0.98
ピーク時平均	13.45	ピーク時平均	12.31	ピーク時平均	0.92
夜間平均	15.07	夜間平均	15.93	夜間平均	1.06

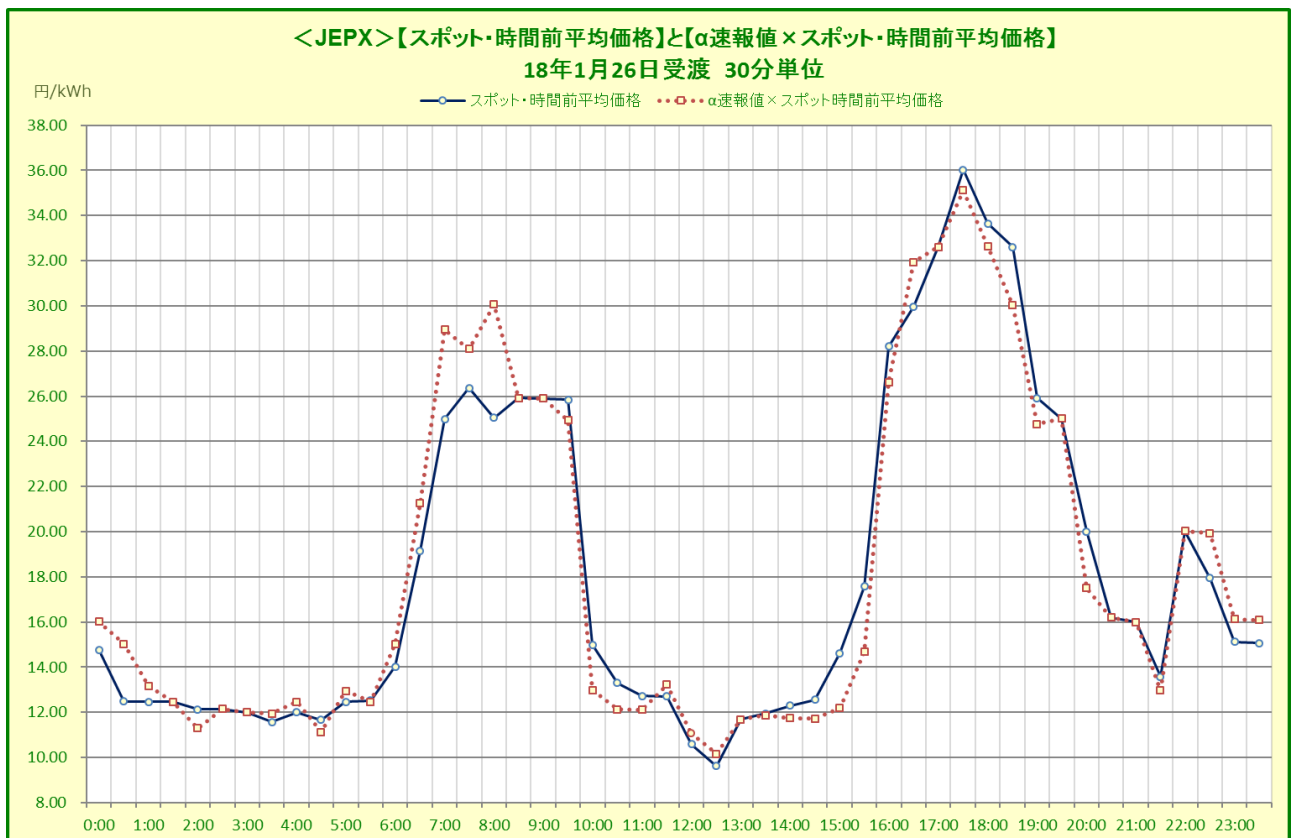
単位：円/kWh

	0:00	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00	5:30
スポット・時間前	14.77	12.48	12.46	12.46	12.13	12.14	12.00	11.57	12.00	11.67	12.46	12.52
α ×スポット・時間前	16.01	15.03	13.16	12.46	11.29	12.14	12.00	11.94	12.46	11.13	12.95	12.46
α 速報値	1.08	1.20	1.06	1.00	0.93	1.00	1.00	1.03	1.04	0.95	1.04	1.00

	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30
スポット・時間前	14.03	19.16	24.99	26.36	25.05	25.92	25.89	25.84	14.99	13.30	12.72	12.71
α ×スポット・時間前	15.03	21.25	28.94	28.10	30.06	25.92	25.89	24.94	12.98	12.13	12.11	13.23
α 速報値	1.07	1.11	1.16	1.07	1.20	1.00	1.00	0.97	0.87	0.91	0.95	1.04

	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30
スポット・時間前	10.59	9.62	11.68	11.94	12.30	12.56	14.61	17.58	28.20	29.96	32.61	36.02
α ×スポット・時間前	11.07	10.15	11.68	11.86	11.73	11.72	12.18	14.68	26.62	31.94	32.61	35.12
α 速報値	1.05	1.06	1.00	0.99	0.95	0.93	0.83	0.84	0.94	1.07	1.00	0.98

	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00	23:30
スポット・時間前	33.65	32.61	25.91	25.00	20.00	16.19	16.00	13.57	20.02	17.95	15.12	15.07
α ×スポット・時間前	32.64	30.03	24.77	25.00	17.50	16.19	16.00	12.97	20.02	19.94	16.13	16.08
α 速報値	0.97	0.92	0.96	1.00	0.88	1.00	1.00	0.96	1.00	1.11	1.07	1.07



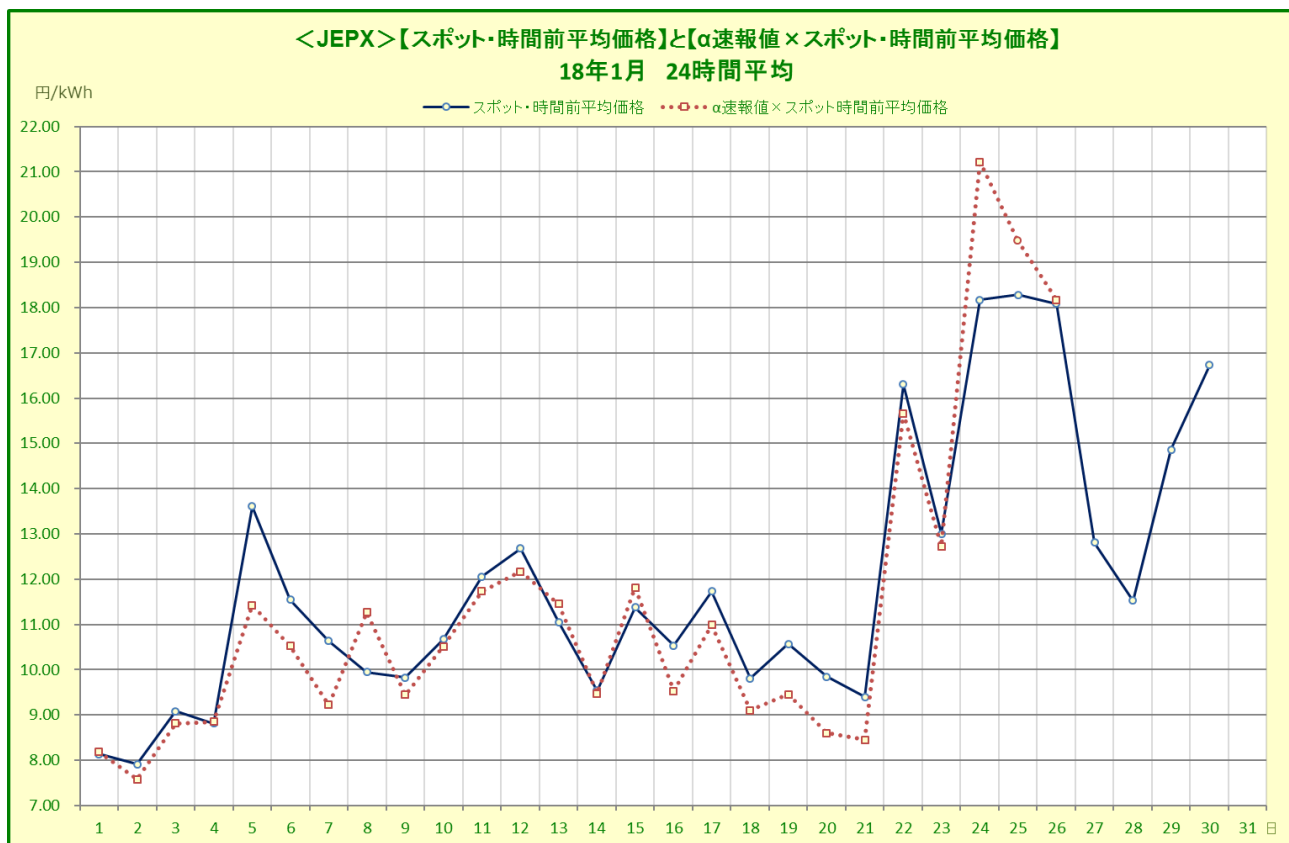
〇1月受渡・24時間平均

1月1～26日のデータをベースとした平均価格と α 速報値。

※なお、スポット・時間前平均価格については1月1～30日も併記。

スポット・時間前平均(1/1～26)		α 速報値×スポット・時間前平均(1/1～26)		α 速報値(1/1～26)		※スポット・時間前平均(1/1～30)	
24時間平均	11.64	24時間平均	11.38	24時間平均	0.98	24時間平均	11.95
昼間平均	12.69	昼間平均	12.40	昼間平均	0.98	昼間平均	12.96
ピーク時平均	10.33	ピーク時平均	9.90	ピーク時平均	0.96	ピーク時平均	10.36
夜間平均	10.17	夜間平均	9.95	夜間平均	0.98	夜間平均	10.54

単位：円/kWh



〇9エリア別のインバランス精算単価(1月)※ α 速報値ベース

1月のインバランス精算単価(26日時点)

単位：円/kWh

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
α 速報値×スポット・時間前平均価格(24時間)	11.38								
β (エリア価格-システム価格の中央値)	1.78	-0.04	-0.04	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.00
インバランス単価($\alpha+\beta$)	13.16	11.34	11.34	11.67	11.67	11.67	11.67	11.67	11.38

※.いずれも1月1～26日の数値

◎日本卸電力取引所 (JEPX) 月間動向

○1月受渡

[実勢高値] 36.10円 (25日：全国) [実勢安値] 4.62円 (1日：九州)。

[月間平均価格] ①24時間平均：12.12円 (前月比1.33円高) ②昼間平均：13.14円 (同1.58円高)

③ピーク時平均：10.45円 (同1.06円高) ④夜間平均：10.70円 (同0.98円高)

[売り入札量] 月間計：115億4,544万8,000kWh (前月比9.5%増、前年比33.5%増)。

日量平均：3億7,243万3,806kWh。

[買い入札量] 月間計：125億5,380万4,500kWh (前月比8.0%増、前年比115.2%増)。

日量平均：4億496万1,435kWh。 ※過去最多

[約定量] 月間計：63億3,848万8,500kWh (前月比13.7%増、前年比178.4%増)。

日量平均：2億446万7,371kWh。

1日最大：2億3,343万4,500kWh (29日)、最少：1億7,289万3,500kWh (1日)。

[先渡約定] ①1/13～1/19受渡：週間昼間型 (平日8時～18時受渡) にて13.23円 (1MW)。

②1/20～1/26受渡：週間昼間型にて13.23円 (1MW), 13.50円 (9MW)。

③1/20～1/26受渡：週間24時間型にて12.20円 (10MW)

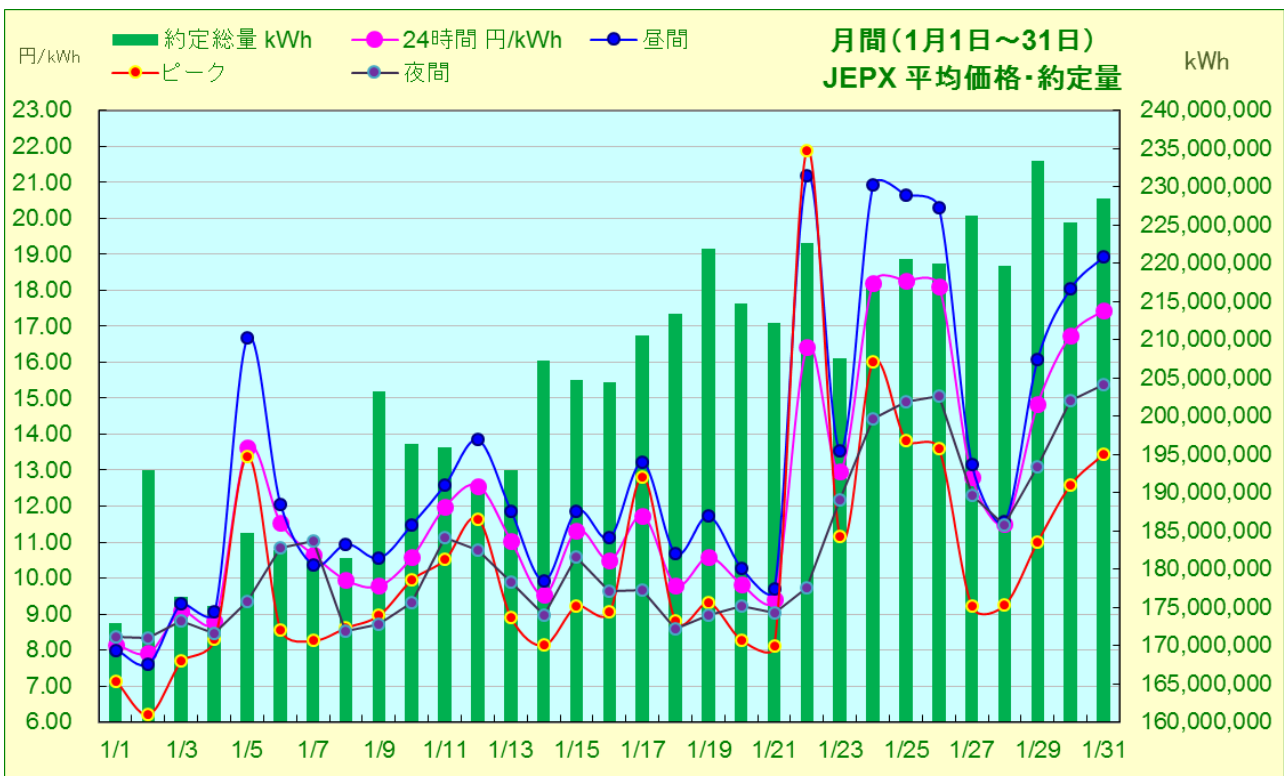
④1/27～2/2受渡：週間昼間型にて12.60円 (11MW), 13.50円 (5MW), 13.50円 (5MW)。

⑤1/27～2/2受渡：週間24時間型にて12.20円 (10MW)。

※1月の合計約定件数は週間昼間型が6件、週間24時間型が2件。

※1月の合計約定量は週間昼間型が32MW、週間24時間型が20MW。

※1月に約定した加重平均値は週間昼間型が13.17円、週間24時間型が12.20円。



◎主要都市の週間予想気温および天気予報

02月1日～2月7日：気象庁1月31日11時発表

【気温】最高気温・最低気温ともに、平年より高い所もあるものの、全国的に平年並か平年より低い日が多く、期間後半は平年よりかなり低い所もある見込み。

【天気】北日本から西日本の日本海側は、高気圧に覆われて晴れる所もあるが、低気圧や寒気の影響で曇りや雪または雨の降る日が多くなりそう。北日本から西日本の太平洋側は、高気圧に覆われて晴れる日もあるものの、低気圧や寒気の影響で雲が広がりやすく、雪または雨の降る所がある。

都市	1日 予想最低	1日 予想最高	1日 平年最低	1日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-9.0	-2.0	-7.4	-0.9	-1.6	-1.1	☀/☁
仙台	-3.0	3.0	-2.2	5.0	-0.8	-2.0	☀/☁
新潟	-1.0	4.0	-0.4	5.0	-0.6	-1.0	☀/☁
東京	2.0	7.0	0.9	9.5	1.1	-2.5	☀
名古屋	1.0	7.0	0.3	8.8	0.7	-1.8	☀
富山	0.0	4.0	-0.8	5.5	0.8	-1.5	☀/☁
大阪	1.0	5.0	2.2	9.0	-1.2	-4.0	☀/☁
広島	1.0	10.0	1.2	9.5	-0.2	0.5	☀/☁
高松	1.0	6.0	1.1	9.1	-0.1	-3.1	☀・☁
福岡	3.0	11.0	3.1	9.7	-0.1	1.3	☀・☁
都市	2日 予想最低	2日 予想最高	2日 平年最低	2日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-11.0	-1.0	-7.4	-0.9	-3.6	-0.1	☀/☁
仙台	-6.0	3.0	-2.2	5.1	-3.8	-2.1	☀
新潟	-2.0	5.0	-0.4	5.0	-1.6	0.0	☀
東京	1.0	5.0	0.9	9.6	0.1	-4.6	☀/☁
名古屋	0.0	11.0	0.3	8.9	-0.3	2.1	☀/☁
富山	-1.0	6.0	-0.8	5.6	-0.2	0.4	☀
大阪	2.0	10.0	2.2	9.1	-0.2	0.9	☀/☁
広島	0.0	10.0	1.3	9.5	-1.3	0.5	☀→☁
高松	1.0	9.0	1.1	9.1	-0.1	-0.1	☀/☁
福岡	3.0	10.0	3.1	9.8	-0.1	0.2	☀
都市	3日 予想最低	3日 予想最高	3日 平年最低	3日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-9.0	0.0	-7.4	-0.8	-1.6	0.8	☀→☁
仙台	-2.0	6.0	-2.1	5.1	0.1	0.9	☀/☁
新潟	0.0	8.0	-0.4	5.1	0.4	2.9	☀/☁
東京	2.0	8.0	1.0	9.6	1.0	-1.6	☀
名古屋	2.0	10.0	0.3	9.0	1.7	1.0	☀/☁
富山	0.0	7.0	-0.8	5.7	0.8	1.3	☀/☁
大阪	2.0	9.0	2.3	9.2	-0.3	-0.2	☀/☁
広島	1.0	8.0	1.3	9.6	-0.3	-1.6	☀/☁
高松	1.0	9.0	1.1	9.2	-0.1	-0.2	☀/☁
福岡	3.0	7.0	3.2	9.9	-0.2	-2.9	☀
都市	4日 予想最低	4日 予想最高	4日 平年最低	4日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-4.0	2.0	-7.3	-0.7	3.3	2.7	☀/☁
仙台	-1.0	6.0	-2.1	5.2	1.1	0.8	☀/☁
新潟	0.0	4.0	-0.3	5.1	0.3	-1.1	☀/☁
東京	2.0	9.0	1.1	9.7	0.9	-0.7	☀/☁
名古屋	0.0	8.0	0.4	9.1	-0.4	-1.1	☀/☁
富山	-1.0	4.0	-0.7	5.8	-0.3	-1.8	☀/☁
大阪	2.0	7.0	2.3	9.3	-0.3	-2.3	☀/☁
広島	0.0	5.0	1.4	9.7	-1.4	-4.7	☀
高松	1.0	6.0	1.2	9.3	-0.2	-3.3	☀/☁
福岡	1.0	3.0	3.3	10.0	-2.3	-7.0	☀/☁
都市	5日 予想最低	5日 予想最高	5日 平年最低	5日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-5.0	1.0	-7.2	-0.6	2.2	1.6	☀/☁
仙台	-3.0	3.0	-2.1	5.3	-0.9	-2.3	☀/☁
新潟	-2.0	2.0	-0.3	5.2	-1.7	-3.2	☀/☁
東京	1.0	7.0	1.2	9.8	-0.2	-2.8	☀/☁
名古屋	-1.0	5.0	0.4	9.2	-1.4	-4.2	☀
富山	-3.0	2.0	-0.7	5.9	-2.3	-3.9	☀/☁
大阪	1.0	5.0	2.4	9.4	-1.4	-4.4	☀/☁
広島	-2.0	3.0	1.5	9.9	-3.5	-6.9	☀/☁
高松	0.0	4.0	1.2	9.5	-1.2	-5.5	☀/☁
福岡	-1.0	2.0	3.4	10.2	-4.4	-8.2	☀/☁
都市	6日 予想最低	6日 予想最高	6日 平年最低	6日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-7.0	-1.0	-7.2	-0.6	0.2	-0.4	☀/☁
仙台	-3.0	3.0	-2.0	5.4	-1.0	-2.4	☀/☁
新潟	-2.0	2.0	-0.3	5.3	-1.7	-3.3	☀/☁
東京	-1.0	6.0	1.2	9.9	-2.2	-3.9	☀/☁
名古屋	-2.0	4.0	0.5	9.3	-2.5	-5.3	☀
富山	-3.0	1.0	-0.6	6.0	-2.4	-5.0	☀/☁
大阪	-1.0	4.0	2.5	9.5	-3.5	-5.5	☀/☁
広島	-2.0	4.0	1.5	10.0	-3.5	-6.0	☀/☁
高松	-1.0	4.0	1.3	9.6	-2.3	-5.6	☀/☁
福岡	-1.0	3.0	3.5	10.3	-4.5	-7.3	☀/☁
都市	7日 予想最低	7日 予想最高	7日 平年最低	7日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-9.0	-1.0	-7.1	-0.5	-1.9	-0.5	☀/☁
仙台	-4.0	3.0	-1.9	5.5	-2.1	-2.5	☀/☁
新潟	-2.0	2.0	-0.2	5.4	-1.8	-3.4	☀/☁
東京	-1.0	6.0	1.3	10.0	-2.3	-4.0	☀/☁
名古屋	-2.0	5.0	0.6	9.5	-2.6	-4.5	☀/☁
富山	-4.0	3.0	-0.6	6.1	-3.4	-3.1	☀/☁
大阪	-1.0	6.0	2.5	9.6	-3.5	-3.6	☀/☁
広島	-3.0	6.0	1.6	10.1	-4.6	-4.1	☀/☁
高松	-1.0	6.0	1.4	9.7	-2.4	-3.7	☀/☁
福岡	1.0	6.0	3.6	10.5	-2.6	-4.5	☀

(注)
・予想最低・最高気温、天候は気象庁による31日11時発表データ
・平年最低・最高気温の出所:気象庁
・平年の統計期間:1981年～2010年
・最低・最高気温の差＝予想最低・最高気温－平年最低・最高気温

・天気の略号
☀(晴れ)、☁(曇り)、☔(雨)、❄(雪)
→(後)、/ (時々)、/(一時)、・(～か～)、暴風(暴風)

・天気の表記例
☁→☀ (「曇り後晴れ」など)、❄/☀ (「雪時々晴れ」など)
☔/☀ (「雨一時晴れ」など)、☁☔ (「曇りが晴れ」など)
暴風❄ (「暴風雪」など)、☔暴風 (「暴風を伴う雨」など)

◎電力9エリアの各種データおよびグラフ
○電力9エリアのピーク時供給予備力とRimIndex24時間

1日の「供給予備率と使用率見通し」と「予備力見通し」は31日夕刻時点の供給計画がベース。

供給予備力見通しの前日比は 31 日朝の予備力見通しと対比。

電力 9 エリアの供給予備力を棒グラフで積み上げ。RimIndex24 時間は折れ線グラフ。

供給予備力が少ない場合スポット価格は上昇する傾向にある。

※2018年2月1日(水)のRim Index24時間は17.62円/kWh、予備力は1,475万kWの見込み。

2017年2月2日(水)のRim Index24時間は11.29円/kWh、予備力は1,455万kWだった。

2月1日の供給予備率と使用率見通し

エリア	ピーク時供給力	予想最大電力	供給予備率	使用率	予想最大電力時間帯	気温見通し(最低/最高)
北海道	598	512	16.8%	85.6%	17～18時	-9.0 / -2.0
東北	1,600	1,371	16.7%	85.7%	09～10時	-3.0 / 3.0
東京	5,259	4,909	7.1%	93.3%	17～18時	2.0 / 7.0
東日本3エリア計	7,457	6,792	9.8%	91.1%	-	-3.3 / 2.7
中部	2,545	2,299	10.7%	90.3%	09～10時	1.0 / 7.0
北陸	564	500	12.8%	88.7%	09～10時	0.0 / 4.0
関西	2,655	2,450	8.4%	92.3%	09～10時	1.0 / 5.0
中国	1,140	1,026	11.1%	90.0%	09～10時	1.0 / 10.0
四国	520	475	9.5%	91.3%	09～10時	1.0 / 6.0
九州	1,576	1,440	9.4%	91.4%	08～09時	3.0 / 11.0
中西日本6エリア計	9,000	8,190	9.9%	91.0%	-	1.2 / 7.2
9エリア合計	16,457	14,982	9.8%	91.0%	-	-0.3 / 5.0

単位: 万kW、気温は℃

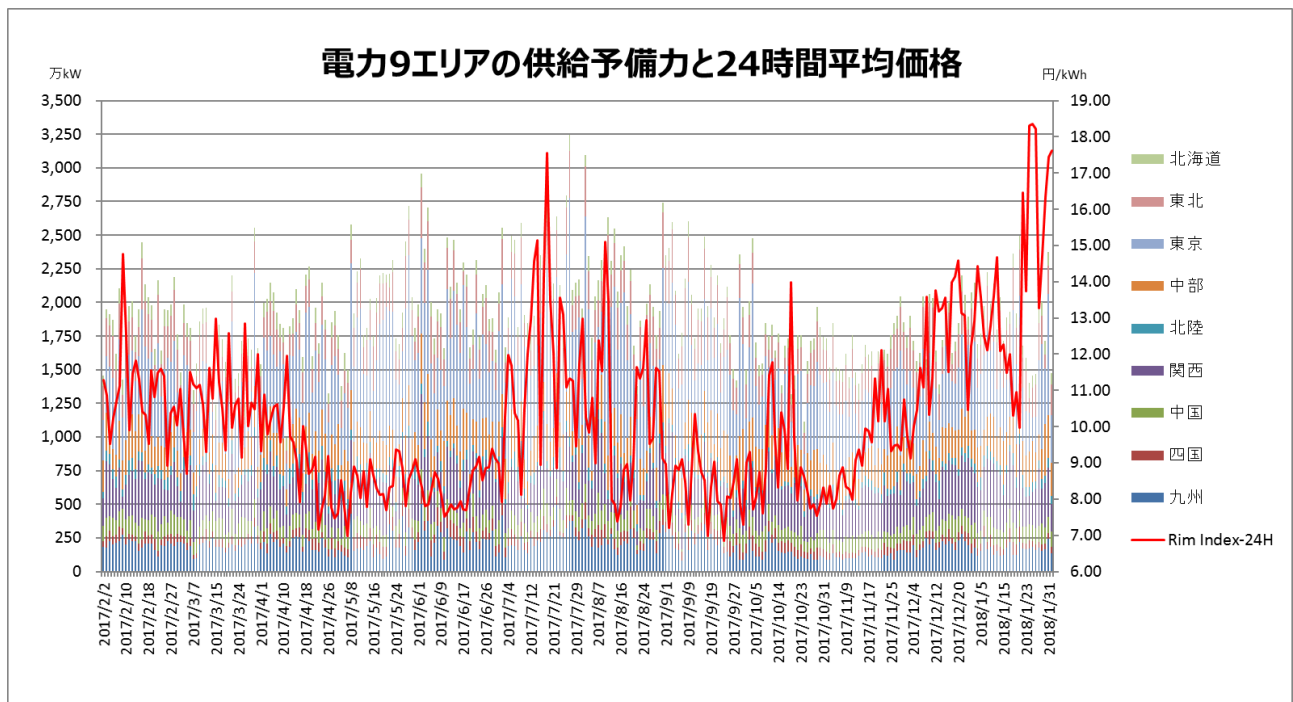
気温の地域は電力9社の本店所在地(札幌、仙台、東京、名古屋、富山、大阪、広島、高松、福岡)とし合計は平均気温

気温見通しは気象庁11時発表の予報

2月1日の電力9エリアによる供給予備力見通し

※単位: 万kW、カッコ内は前日比

	9社合計	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
供給予備力	1,475(-899)	86(-14)	229(+15)	350(-551)	246(-67)	64(-8)	205(-166)	114(+2)	45(+1)	136(-107)





供給予備力：ピーク時供給力から最大電力を引いたもの。ここでの最大電力実績は18時台までの数値。

◎火力発電所動向

○1月31日に変化が確認された火力発電設備：24基・957万2,000kWh

社名	発電所名（ユニット番号）	種別	使用燃料	定格出力（万kW）	状況
東電	鹿島6号機	計画外停止	原・重油	100	○計画外停止:停止2018/1/16の14時12分-復旧予定2018/1/31(2018/1/30の16時15分更新)—復旧予定2018/2/1(2018/1/29の17時29分更新)—復旧未定(1/18の13時35分再掲←2018/1/16の14時21分更新) ○計画外停止:停止2018/1/31の15時25分-復旧未定(2018/1/31の15時40分更新) ○計画停止:停止予定2018/3/9の零時-復旧予定2018/6/25(2018/1/15の14時49分更新) ○計画停止:停止予定2018/10/21の22時-復旧予定2018/11/1(2018/1/24の14時56分更新)
	千葉3-1号機	計画停止	LNG	50	○計画停止:停止予定2017/11/25-復旧予定2017/12/26(10/20の15時35分更新)—復旧予定2017/12/31(1/18更新) ○計画停止:停止予定2018/1/31の9時25分-復旧予定2017/1/31(2018/1/31の17時1分更新)—復旧未定(2018/1/31の9時14分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/2の零時-復旧予定2018/5/3(2018/1/29の16時1分更新) ○計画停止:停止予定2018/6/7の零時-復旧予定2018/6/10(2018/1/30の9時7分更新) ○計画停止:停止予定2018/9/29の零時-復旧予定2018/9/30(2018/1/29の9時10分更新)
	千葉3-3号機	計画停止	LNG	48.1	○計画停止:停止予定2018/1/29の23時-復旧予定2018/1/30(2018/1/29の14時16分更新) ○計画停止:停止予定2018/1/31の23時-復旧予定2018/2/1(2018/1/31の17時00分更新) ○計画停止:停止予定2018/6/4の零時-復旧予定2018/6/16(2018/1/30の9時14分更新) ○計画停止:停止予定2018/10/6の零時-復旧予定2018/10/7(2018/1/30の9時16分更新)
	広野4号機	計画外停止	原・重油	100	○計画停止:停止予定2018/1/17の9時-復旧予定2018/1/22(1/21の19時55分更新)—復旧予定2017/1/21(12/19の17時5分更新) ○計画外停止:停止2018/1/21の19時8分-復旧予定2017/1/22(2018/1/21の19時25分更新) ○計画外停止:停止2018/1/22の12時-復旧予定2017/2/7(2018/1/31の16時48分更新)—復旧未定(2018/1/21の11時47分更新)
	富津2-1号機	計画停止	LNG	16.5	○計画停止:停止予定2018/1/29-復旧予定2018/2/13(2017/2/22の14時27分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/19(2018/1/30の14時18分更新)←(停止予定2018/5/14の零時-復旧予定2018/5/15=2018/1/30の13時19分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/1の零時-復旧予定2018/5/4(2018/1/30の15時10分更新) ○計画停止:停止予定2018/12/15の零時-復旧予定2018/12/17(2018/1/30の13時20分更新)
	富津2-2号機	計画停止	LNG	16.5	○計画停止:停止予定2017/12/2の9時-復旧予定2017/12/2同日(11/20の15時4分更新) 【○計画停止:停止予定2017/10/2-復旧予定2018/3/16(2017/2/21の15時47分更新)】 ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/19(2018/1/30の14時19分更新)←(停止予定2018/4/28の7時-復旧予定2018/5/19=2018/1/15の13時43分更新) ○計画停止:停止予定2018/6/16の零時-復旧予定2018/6/17(2018/1/30の13時21分更新) ○計画停止:停止予定2018/11/24の零時-復旧予定2018/11/25(2018/1/30の13時23分更新)

東電	富津2-3号機	計画停止	LNG	16.5	○計画停止:停止予定2018/1/27の1時-復旧予定2018/1/27同日(2017/12/19の17時17分更新) ○計画停止:停止予定2018/3/25の1時-復旧予定2018/3/25同日(2017/2/22の14時51分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/19(2018/1/30の14時20分更新)←(停止予定2018/4/28の7時-復旧予定2018/5/19=2018/1/15の13時44分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/1の零時-復旧予定2018/5/4(2018/1/30の16時37分更新) ○計画停止:停止予定2018/6/2の9時-復旧予定2018/6/2同日(2018/1/30の13時26分更新)←(停止予定2018/6/2の零時-復旧予定2018/6/3=2018/1/30の13時24分更新)
	富津2-4号機	計画停止	LNG	16.5	○計画停止:停止予定2018/1/20の1時-復旧予定2018/1/20同日(2017/2/22の14時14分更新) ○計画停止:停止予定2018/3/1-復旧予定2018/8/27(2017/2/22の14時38分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/19(2018/1/30の14時21分更新)←(停止予定2018/4/28の7時-復旧予定2018/5/19=2018/1/15の13時45分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/1の零時-復旧予定2018/5/4(2018/1/30の16時38分更新) ○計画停止:停止予定2018/11/10の零時-復旧予定2018/11/11(2018/1/30の13時38分更新)
	富津2-5号機	計画停止	LNG	16	○計画停止:停止予定2017/12/21の19時-復旧予定2017/12/22(12/22の16時55分更新)←復旧未定(12/21の18時23分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/19(2018/1/30の14時22分更新)←(停止予定2018/4/28の7時-復旧予定2018/5/19=2018/1/15の13時47分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/1の零時-復旧予定2018/5/4(2018/1/30の16時39分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/10の零時-復旧予定2018/5/12(2018/1/30の13時39分更新)
	富津2-6号機	計画停止	LNG	16.5	○計画停止:停止予定2018/1/20の-復旧予定2018/1/21(2017/2/22の14時10分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/15の1時-復旧予定2018/4/15同日(2018/1/15の13時31分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/19(2018/1/30の14時24分更新)←(停止予定2018/4/28の7時-復旧予定2018/5/19=2018/1/15の13時49分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/1の零時-復旧予定2018/5/4(2018/1/30の16時40分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/26の零時-復旧予定2018/5/27(2018/1/30の13時42分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/28の零時-復旧予定2018/5/28同日(2018/1/30の13時44分更新)
	富津2-7号機	計画停止	LNG	16.5	○計画停止:停止予定2018/1/13の零時10分-復旧予定2018/1/15(2017/2/22の14時8分更新) ○計画停止:停止予定2018/2/10の零時-復旧予定2018/2/10当日(1/22の9時38分更新)←復旧予定2018/2/11(2018/1/22の9時36分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/19(2018/1/30の14時25分更新)←(停止予定2018/5/7の零時-復旧予定2018/5/9=2018/1/30の13時50分更新)←(停止予定2018/4/28の7時-復旧予定2018/5/19=2018/1/15の13時49分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/1の零時-復旧予定2018/5/4(2018/1/30の16時42分更新) ○計画停止:停止予定2018/10/20の零時-復旧予定2018/10/21(2018/1/30の13時52分更新)

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

東電	富津3-1号機	計画停止	LNG	38	○計画停止:停止予定2017/7/15-復旧予定2017/7/19(7/19の8時5分更新)―復旧未定(7/14の18時25分更新) ○計画外停止:停止予定2017/8/24の18時50分-復旧予定2017/8/24同日(8/24の20時9分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/28の零時-復旧予定2018/8/28(2018/1/30の13時56分更新)
	富津3-2号機	計画停止	LNG	38	○計画停止:停止予定2017/9/1の零時10分-復旧予定2017/11/28(11/13の11時12分更新)―復旧予定2017/11/30(9/11の17時19分更新)―復旧予定2017/12/13(8/9の13時22分更新)―(停止予定2017/9/1-復旧予定2017/12/13=2/10の11時5分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/19の零時-復旧予定2018/5/20(2018/1/30の13時58分更新)
	富津3-3号機	計画外停止	LNG	38	○計画外停止:停止2017/10/23の11時-復旧予定2017/10/23同日(10/23の18時55分更新)―復旧未定(10/23の11時42分更新) ○計画停止:停止予定2018/1/30の23時-復旧予定2018/1/31(2018/1/30の14時5分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/12の零時-復旧予定2018/5/13(2018/1/30の13時59分更新)
	富津3-4号機	計画停止	LNG	38	○計画外停止:停止予定2017/8/24の18時50分-復旧予定2017/8/24同日(8/24の20時15分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/26の零時10分-復旧予定2018/5/27(2018/1/30の14時2分更新) ○計画停止:停止予定2019/2/13の零時-復旧予定2019/4/22(2018/1/30の14時5分更新)
	富津4-1号機	計画停止	LNG	50.7	○計画停止:停止予定2018/1/12-復旧予定2018/2/27(2017/2/22の14時2分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/6(2018/1/15の13時53分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/10の零時-復旧予定2018/5/3(2018/1/30の14時6分更新)
	富津4-2号機	計画停止	LNG	50.7	○計画停止:停止予定2017/12/28-復旧予定2017/12/28同日(11/20の11時41分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/6(2018/1/15の13時53分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/6(1/15の13時57分再掲←2018/1/15の13時55分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/4の零時-復旧予定2018/5/6(2018/1/30の14時7分更新) ○計画停止:停止予定2018/11/1の零時-復旧予定2018/12/22(2018/1/30の14時9分更新)
北陸電	富津4-3号機	計画停止	LNG	50.7	○計画停止:停止予定2017/12/23-復旧予定2017/12/23(11/20の11時37分更新) ○計画停止:停止予定2018/4/28の零時-復旧予定2018/5/6(2018/1/15の13時59分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/4の9時-復旧予定2018/5/4同日(2018/1/30の14時10分更新) ○計画停止:停止予定2018/5/7の零時-復旧予定2018/5/9(2018/1/30の14時12分更新) ○計画停止:停止予定2018/9/21の零時-復旧予定2018/10/4(2018/1/30の14時14分更新)
	富山新港1号機	計画停止	原・重油	50	○計画停止:停止予定2017/11/6の6時-復旧未定(11/6の5時11分更新) ○計画停止:停止予定2018/2/2の零時-復旧予定2018/2/4(2018/1/30の18時33分更新)
北陸電	富山新港石炭1号機	計画外停止	石炭	25	○計画停止:停止予定2017/12/28の20時-復旧予定2017/12/31(3/7の17時25分更新) ○計画停止:停止予定2018/3/2の20時-復旧予定2018/3/5(2017/3/7の17時26分更新) ○計画停止:停止予定2018/3/16の20時-復旧予定2018/3/19(2018/1/30の18時35分更新)

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

Jパワー

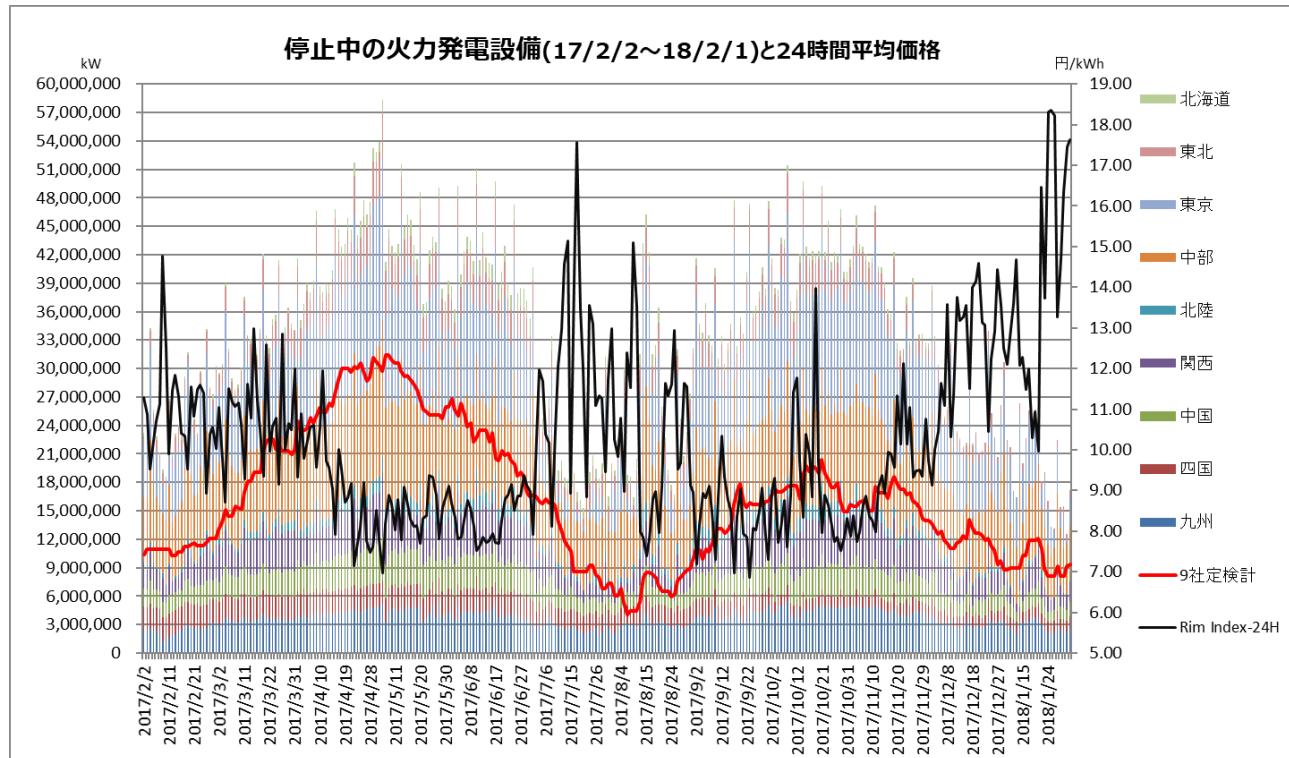
Jパワー	竹原3号機 (中国)	計画外停止	石炭	70	○計画停止:停止予定2017/6/2-2017/6/5(5/19の13時51分更新) ○計画停止:停止予定2017/9/9-復旧予定2017/11/20(11/1の10時29分更新)—復旧予定2017/11/23(10/20の15時41分更新)— 2017/11/14(10/20の13時46分更新) ○計画外停止:停止2018/1/31の1時48分-復旧予定2018/1/31当日(2018/1/31の9時20分更新)
------	------------	-------	----	----	---

大手電力関連設備

鹿島 共同火力	鹿島共同発電所 5号機 (東京)	計画停止	高炉ガス/コークス炉ガス	30	○計画外停止:停止2018/1/26の8時34分-復旧予定2108/1/27(1/26の20時41分更新)—復旧予定2018/1/28(2018/1/26の8時38分更新) ○計画外停止:停止予定2018/1/27の17時56分-復旧予定2108/1/30(1/29の18時18分更新)—復旧予定2018/1/28(2018/1/27の18時47分更新) ○計画停止:停止予定2018/1/31の6時35分-復旧予定2018/2/1(2018/1/11の14時24分更新)←(停止予定2018/1/31の4時45分-復旧予定2018/2/1=2018/1/11の14時24分更新) ○計画停止:停止予定2018/2/1の4時45分-復旧予定2018/2/2(2017/12/1の15時2分更新)
君津 共同火力	君津共同発電所 3号機 (東京)	計画停止	高炉ガス/コークス炉ガス/ 重油	35	○計画停止:停止2017/4/10の18時-復旧予定2017/5/3(4/28の13時2分更新)—復旧予定2017/5/25(3/31の9時3分更新) ○計画停止:停止予定2018/2/3の18時30分-復旧予定2018/4/3(2018/1/30の17時8分更新)←(停止予定2018/2/3の18時-復旧予定2018/4/3=2018/1/24の15時35分更新)←(停止予定2018/2/2の18時-復旧予定2018/4/3=2018/1/24の12時26分更新)←(停止予定2018/2/12の18時-復旧予定2018/4/3=2018/1/12の9時32分更新)←(停止予定2018/2/2の18時-復旧予定2018/4/3=2017/5/26の16時58分更新)
	君津共同発電所 5号機 (東京)	計画外停止	高炉ガス/コークス炉ガス	30	○計画停止:停止予定2018/1/10の6時-復旧予定2108/1/12(2017/12/18の12時12分更新) ○計画停止:停止予定2018/1/19の5時54分-復旧予定2108/1/21(2018/1/19の6時34分更新)←(停止予定2018/1/19の6時-復旧予定2108/1/21=2017/12/18の12時12分更新) ○計画停止:停止予定2018/2/1の6時-復旧予定2108/2/3(2018/1/31の15時39分更新)

9 社定検計(赤の折れ線グラフ)は、9 社で定期検査および1 カ月以上の補修停止などに入っている火力の合計出力を折れ線グラフにしたもの。9 社合計の停止火力の積み上げ棒グラフに対し、赤の折れ線グラフより上が定検以外の停止供給力の合計、下が定検火力の合計。

2 月 1 日(水)の 9 社合計の停止火力は推定 1,718 万 kW に対し、定検停止分は約 930 万 kW、定検以外の要因で約 788 万 kW が停止の見込み。1 年前の 2017 年 2 月 2 日(水)の停止火力は 2,319 万 kW に対し定検停止分は約 1,036 万 kW、定検以外の要因で約 1,283 万 kW が停止した。



◎スパーク/ダーク・スプレッドおよび燃料ネットバック

○スパーク/ダーク・スプレッド

Rim Index (円/kWh、1日受渡)※1								
24時間		昼間	ピーク	夜間				
17.62		19.62	15.59	14.83				
燃料	熱効率(%)※2	燃料価格※3 円/ト・kl	課税後※6 円/ト・kl	発電単価※4 円/kWh	スプレッド(円/kWh)※5			
					24時間	昼間	ピーク	夜間
LNG	44.10	59,001	60,861	9.10	+8.52	+10.52	+6.49	+5.73
	50.00			8.03	+9.59	+11.59	+7.56	+6.80
	59.00			6.80	+10.82	+12.82	+8.79	+8.02
石炭	40.50	13,443	14,813	5.12	+12.50	+14.50	+10.47	+9.70
	45.00			4.61	+13.01	+15.01	+10.98	+10.21
輸入C重油	38.40	51,843	51,843	11.80	+5.82	+7.82	+3.79	+3.03
国産C重油								
硫黄分0.3%	38.40	54,000	54,000	12.29	+5.33	+7.33	+3.30	+2.54
硫黄分3.0%	38.40	49,000	49,000	11.15	+6.47	+8.47	+4.44	+3.68
原油	38.40	46,830	49,630	11.81	+5.81	+7.81	+3.78	+3.02

※1.Rim Index は東西平均の中心値。※2. 熱効率の太字は一般電気事業者の2013年度平均熱効率。※3. 燃料価格のLNGは「Rim LNG レポート」の北東アジア3月前半着価格を円換算、石炭は豪NEWCの2月積み価格にフレートを加算し円換算、輸入C重油は「Rim アジア石油製品レポート」のCFR JapanのLSFO 0.3%Sを円換算、国産C重油は「Rim ジャパン石油製品レポート」の1月渡しの東西平均価格、原油はRim試算の輸入CIF1月着価格を円換算。円換算に用いる為替レートは三菱東京UFJ銀行発表のTTSを適用。※4. 「発電単価」は電力熱量、燃料熱量、熱効率、燃料価格から導き出したもので設備利用率などは考慮せず。いわゆる「限界費用」となっている。※5. スプレッドはRim Index から発電単価を引いた数値。※6. 2016年4月1日から石油石炭税(地球温暖化対策税)が値上げとなり反映。原油・石油製品2,800円/kl(+760円)、ガス状炭化水素1,860円/t(+780円)、石炭1,370円/t(+670円)。

○燃料ネットバック

Rim Index (円/kWh)※1	受渡	24時間	昼間	ピーク	夜間	円ドル(1/30)※
	2月1日	17.62	19.62	15.59	14.83	110.05

	RIMインデックス (円/kWh)		熱効率※3	電力価格燃料ネットバック(DES、CIF)				燃料現行実勢※4		マージン
				\$/mt	\$/mmBtu	\$/bbl	Yen/kl	1月30日	単位	
LNG	24時間	17.62	44.10%	1,053.99	20.38			10.35	\$/mmBtu	10.03
			50.00%	1,197.26	23.15				\$/mmBtu	12.80
			59.00%	1,415.81	27.38				\$/mmBtu	17.03
	昼間	19.62	44.10%	1,175.54	22.73				\$/mmBtu	12.38
			50.00%	1,335.07	25.82				\$/mmBtu	15.47
			59.00%	1,578.43	30.52				\$/mmBtu	20.17
	ピーク	15.59	44.10%	930.61	18.00				\$/mmBtu	7.65
			50.00%	1,057.38	20.45				\$/mmBtu	10.10
			59.00%	1,250.75	24.19				\$/mmBtu	13.84
	夜間	14.83	44.10%	884.12	17.10				\$/mmBtu	6.75
			50.00%	1,004.66	19.43				\$/mmBtu	9.08
			59.00%	1,188.54	22.98				\$/mmBtu	12.63
石炭	24時間	17.62	40.50%	450.47	18.51			122.15	\$/mt	328.32
			45.00%	501.90	20.62				\$/mt	379.75
	昼間	19.62	40.50%	503.01	20.67				\$/mt	380.86
			45.00%	560.28	23.02				\$/mt	438.13
	ピーク	15.59	40.50%	397.13	16.32				\$/mt	274.98
			45.00%	442.64	18.19				\$/mt	320.49
	夜間	14.83	40.50%	377.04	15.49				\$/mt	254.89
			45.00%	420.31	17.27				\$/mt	298.16
輸入C重油	24時間	17.62	38.40%	696.83	17.33			454.75	\$/mt	242.08
	昼間	19.62	38.40%	779.16	19.37				\$/mt	324.41
	ピーク	15.59	38.40%	613.25	15.25				\$/mt	158.50
	夜間	14.83	38.40%	581.76	14.46				\$/mt	127.01
原油	24時間	17.62	38.40%	667.47	17.35	102.95		68.99	\$/bbl	33.96
	昼間	19.62	38.40%	746.21	19.40	115.09			\$/bbl	46.10
	ピーク	15.59	38.40%	587.55	15.27	90.62			\$/bbl	21.63
	夜間	14.83	38.40%	557.43	14.49	85.98			\$/bbl	16.99
国産C重油 硫黄分0.3%	24時間	17.62	38.40%				77,434	54,000	Yen/kl	23,434
	昼間	19.62	38.40%				86,223		Yen/kl	32,223
	ピーク	15.59	38.40%				68,513		Yen/kl	14,513
	夜間	14.83	38.40%				65,151		Yen/kl	11,151
国産C重油 硫黄分3.0%	24時間	17.62	38.40%				77,434	49,000	Yen/kl	28,434
	昼間	19.62	38.40%				86,223		Yen/kl	37,223
	ピーク	15.59	38.40%				68,513		Yen/kl	19,513
	夜間	14.83	38.40%				65,151		Yen/kl	16,151

※1.Rim Index は東西平均の中心値。※2. 為替レートは三菱東京UFJ 銀行発表のTTSを適用。※3. 熱効率の太字は一般電気事業者の2013 年度平均熱効率。※4. 燃料現行実勢のLNG は「Rim LNG レポート」の北東アジア3月前半着価格、石炭は豪NEWC の2 月積み価格にフレートを加算、輸入C 重油は「Rim アジア石油製品レポート」のCFR Japan のLSFO 0.3%S、原油はRim 試算の輸入CIF1 月着価格、国産C 重油は「Rim ジャパン石油製品レポート」の1 月渡しのものであり、2016 年4 月1 日から石油石炭税(地球温暖化対策税) が値上げとなり反映。原油・石油製品2,800 円/kl(+760 円)、ガス状炭化水素1,860 円/t(+780 円)、石炭1,370 円/t(+670 円)。

◎電力調達および売電の入札予定・落札結果(公共機関)
○入札予定
◆環境配慮入札

施設名	予定使用量 (kWh)	予定契約 電力 (kW)	電圧 区分	負荷率 (%)	契約期間	開札
◆佐賀県警察 警察学校及び機動隊 (佐賀県佐賀市) (1/31発表)	397,704	227	高压	20.0	2018/4/1～2019/3/31	2/23(金)
◆東京都 広尾病院 (東京都渋谷区) (1/31発表)	7,860,000	2,300	特高	39.0	2018/6/1～2019/5/31	3/14(水)
◆港区 みなとパーク芝浦 (東京都港区) (1/31発表)	2,834,729	1,800	高压	18.0	2018/4/1～2019/3/31	2/16(金)
◆港区 みなと保健所など12施設 (東京都港区) (1/30発表)	4,611,794	1,826	高压	28.8	2018/4/1～2019/3/31	2/15(木)
茨城県 石岡ポンプ場など4カ所 (茨城県) (1/30発表)	1,066,900	422	高压	28.9	2018/4/1～2019/3/31	2/22(木)
◆九州農政局 佐賀西部高域揚水機場など2カ所 (佐賀県) (1/31発表)	473,000	1,082	高压	9.4	2018/4/1～10/10 (193日)	2/26(月)
◆国土交通省中国地方整備局 菅沢ダム管理支所 (鳥取県日野郡) (1/31発表)	183,300	33	高压	63.4	2018/6/1～2019/5/31	3/9(金)
◆国土交通省中国地方整備局 日野川河川事務所 (鳥取県日野郡) (1/31発表)	334,900	102	高压	37.5	2018/6/1～2019/5/31	3/9(金)
◆国土交通省中国地方整備局 土師ダム管理所 (広島県安芸郡) (1/31発表)	49,700	174	高压	3.3	2018/7/1～2019/6/30	3/15(木)
◆国土交通省中国地方整備局 新丸山ダム工事事務所 (岐阜県加茂郡) (1/31発表)	94,900	51	高压	21.2	2018/4/1～2019/3/31	3/7(水)
◆徳島地方検察庁 本館 (徳島県徳島市) (1/31発表)	164,140	69	高压	27.2	2018/4/1～2019/3/31	2/26(月)
◆長野労働局 管内6カ所 (長野県) (1/31発表)	122,538	164	高压	8.5	2018/4/1～2019/3/31	2/28(水)
千葉県 中央博物館分館海の博物館 (千葉県勝浦市) (1/31発表)	456,000	n. a.	高压	-	2018/4/1～2019/3/31	3/8(木)
千葉県 中央博物館大多喜城分館 (千葉県夷隅郡) (1/31発表)	118,000	n. a.	高压	-	2018/4/1～2019/3/31	3/8(木)
千葉県 現代産業科学館 (千葉縣市川市) (1/31発表)	718,000	n. a.	高压	-	2018/4/1～2019/3/31	2/28(水)
千葉県 船橋豊富高等学校 (千葉県船橋市) (1/31発表)	222,000	n. a.	高压	-	2018/4/1～2019/3/31	3/9(金)
◆杉並区 小中学校など64施設 (東京都杉並区) (1/31発表)	n. a.	n. a.	高压	-	2018/4/1～2019/3/31	2/2(金)
◆国立美術館 国際美術館 (大阪府大阪市) (1/31発表)	n. a.	n. a.	高压	-	2018/4/1～2019/3/31	n. a.

地域別電力需要実績(電力広域的運営推進機関)
〇9エリア実績(1月30日)

※グラフは金曜日のみ掲載します。

地域別電力需要実績					送電端ベース		
2018年1月30日							
	最大電力	時間帯	前日比	前年比	日量	前日比	前年比
北海道	4,963	17～18	0.9%	2.1%	112,749	1.2%	2.7%
東北	14,008	17～18	3.0%	15.3%	309,414	5.4%	16.0%
東京	47,942	18～19	0.6%	20.9%	999,091	2.0%	23.4%
中部	22,990	9～10	0.7%	13.1%	478,900	4.1%	17.1%
北陸	5,228	9～10	4.0%	21.2%	114,227	4.3%	20.6%
関西	24,443	9～10	1.6%	12.1%	510,716	2.7%	15.2%
中国	10,429	8～9	0.7%	14.0%	220,982	1.5%	14.2%
四国	4,727	18～19	-0.5%	15.7%	99,619	2.6%	17.5%
九州	14,413	18～19	-2.1%	15.9%	305,296	1.6%	23.1%
9地域計	149,142	-	0.8%	15.8%	3,150,994	2.7%	18.5%

単位:最大電力=MW、日量=MWh

地域別合計日電力量			
2018年1月1日～30日			
エリア	日電力量合計	前年同期	前年比
北海道	3,113,786	3,181,093	-2.1%
東北	8,168,942	8,013,384	1.9%
東京	26,825,853	25,720,960	4.3%
中部	12,295,730	11,946,307	2.9%
北陸	3,002,316	2,816,656	6.6%
関西	13,592,670	13,153,768	3.3%
中国	5,915,050	5,761,529	2.7%
四国	2,657,808	2,526,078	5.2%
九州	8,136,178	7,587,062	7.2%
9地域計	83,708,333	80,706,838	3.7%

単位: MWh

◎マーケットニュース
〇燃料関連
指標原油市況＝ブレント、WTIは続落、API在庫の増加で 1月31日
【概況】

東京時間31日15時30分現在、インターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油相場は前日の海外市場の大引け後に続落。ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)のWTI原油相場も前日の大引け価格を下回った。ブレント原油の期近3月限は前日の海外市場での引け値に比べ52セント安の68.5ドル/バレル、WTI原油の期近3月限は同54セント安の63.96ドル/バレル。一方、ドバイ原油現物の期近3月物は前日の15時30分時点との比較で1セント安の65.75ドル/バレル。

ブレント、WTI原油の3月限は続落した。米石油協会(API)が発表した同国内の原油在庫が、前週比で323万バレル増加していたことが材料視され、売られた。

【見通し】

今夕以降のブレント原油相場の当限(ドル/バレル)相場見通しについて、大手商品取引員のエネルギー・トレーダーは「68ドル前後で支えられ、再度上値を目指すことを視野に入れている」と述べた。米国内の在庫は増加に転じているものの、世界的に堅調な需要が相場を支えそうだ、と指摘した。

○統計・データ

貿易統計速報＝1月上旬の原油輸入CIF価格は小幅安、45,000円台に

12月の原油輸入量は前月比で増加。特にインドネシアからの輸入量は前月の5万9,714klから、6倍近い33万3,095klに達した。需要期に入り、電力向けの引き合いが増えたとみられる。

原油および粗油輸入通関実績速報						
仕出国	2017年12月				前月比 (価額)	前年比 (価額)
	数量(MT)	価額(千円)	単価(千円)	シェア		
マレーシア	43,447	2,096,337	48.250	0.27%	40.45%	964.75%
インドネシア	333,095	14,930,940	44.825	1.93%	652.24%	304.84%
イラン	1,040,912	44,911,281	43.146	5.81%	101.55%	123.78%
イラク	324,687	13,818,740	42.560	1.79%	113.23%	117.77%
サウジアラビア	6,990,592	310,142,196	44.366	40.10%	122.19%	133.88%
クウェート	1,121,963	48,477,581	43.208	6.27%	125.54%	162.83%
カタール	1,192,494	52,968,249	44.418	6.85%	107.31%	101.75%
オマーン	78,976	2,836,584	35.917	0.37%	44.84%	32.51%
アラブ首長国連邦	4,786,607	215,480,133	45.017	27.86%	143.87%	146.35%
カザフスタン	123,320	5,266,738	42.708	0.68%	137.22%	3.58%
ロシア	618,979	27,626,873	44.633	3.57%	101.54%	79.85%
アメリカ合衆国	261,325	10,750,110	41.137	1.39%	98.38%	-
メキシコ	404,266	15,706,890	38.853	2.03%	116.92%	68.72%
エクアドル	100,959	4,132,866	40.936	0.53%	73.62%	167.69%
アルジェリア	26,917	1,257,723	46.726	0.16%	-	19.03%
オーストラリア	68,974	3,074,768	44.579	0.40%	274.61%	147.87%
合計	17,517,513	773,478,009	44.155	100.00%	121.94%	128.81%

出所:財務省貿易統計速報、単価は価額を数量で割った平均で単位は円/MT

貿易統計速報＝17年12月のLNG輸入CIFは47,000円台、2カ月連続で上昇

液化天然ガス(LNG)輸入通関実績速報						
仕出国	2017年12月				前月比 (価額)	前年比 (価額)
	数量(MT)	価額(千円)	単価(千円)	シェア		
マレーシア	1,551,811	71,667,889	46.183	18.99%	135.99%	121.28%
ブルネイ	393,166	19,158,143	48.728	5.08%	131.46%	140.70%
インドネシア	662,822	31,984,899	48.256	8.47%	120.38%	125.75%
カタール	812,176	36,880,339	45.409	9.77%	107.99%	83.19%
オマーン	243,147	12,464,203	51.262	3.30%	145.73%	137.97%
UAE	365,598	17,151,227	46.913	4.54%	103.34%	95.73%
ロシア	789,508	36,320,553	46.004	9.62%	318.82%	112.81%
トリニダード・トバゴ	58,228	2,738,809	47.036	0.73%	0.00%	111.00%
ナイジェリア	194,937	10,570,850	54.227	2.80%	206.51%	190.16%
豪州	2,520,521	120,614,291	47.853	31.95%	116.33%	128.31%
バブアニューギニア	361,466	17,906,685	49.539	4.74%	141.05%	202.46%
合計	7,953,380	377,457,888	47.459	100.00%	127.05%	116.73%

出所:財務省貿易統計速報、単価は価額を数量で割った平均で単位は円/MT

貿易統計速報＝17年12月の一般炭輸入CIFは5カ月連続で上昇、11,800円台

一般炭輸入通関実績速報						
仕出国	2017年12月				前月比 (価額)	前年比 (価額)
	数量(MT)	価額(千円)	単価(千円)	シェア		
中国	71,000	786,326	11.075	0.63%	67.71%	139.59%
タイ	48	2,049	42.688	0.00%	197.59%	0.00%
インドネシア	1,156,242	12,059,409	10.430	9.74%	92.52%	144.67%
ロシア	1,059,917	12,386,916	11.687	10.00%	88.32%	119.62%
カナダ	87,001	846,504	9.730	0.68%	66.63%	34.02%
米国	319,894	3,946,769	12.338	3.19%	519.35%	0.00%
コロンビア	59,751	628,210	10.514	0.51%	86.38%	0.00%
豪州	7,678,102	93,211,297	12.140	75.25%	112.49%	127.17%
合計	10,431,955	123,867,480	11.874	100.00%	0.00%	127.86%

出所:財務省貿易統計速報、単価は価額を数量で割った平均で単位は円/MT



※リムレポートの転送は著作権により強く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧
[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel: (65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: guanhong@rimbj.com

[インド支局]

Tel: (91)-98795-50717, e-mail:kamlesh@rim-intelligence.co.jp

[上海支社]

Tel: (86)-21-5111-3575, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2018 RIM INTELLIGENCE CO.